

全てはお客様のため、地域のため

間島行政書士事務所



代表 間島博英氏
柏崎市鏡町8-11
Tel.38-9029
Fax.025-333-4800

暑い夏も終わり、秋を感じさせる日、間島行政書士事務所さんの取材に行きました。

間島さんは大阪・高槻市生まれの三十七歳。大学卒業後は、日本政策金融公庫に就職。中小企業の経営分析や融資の相談等が主なお仕事。大阪、金沢の支店勤務を経て、再び大阪に。ここから人生が変わります。飲食店をやらなにかという話をもらい、マネージャーとして経営を任されることに。飲食店はカラオケボックスなど三店舗ほど。「今の仕事とは随分と違いますね(笑)」仕事は順調でしたが、この道を進むのかどうかと迷い始めた頃、縁があり間島家の養子にという話をいただきました。街だなあといい、移住を決めました」

柏崎に来たのは約二年半前。住心地を伺うと「お店や飲みに行く所も適当にあり、特に不自由ないですね。あと、満員電車に乗らずに済むのはいいですね。海や山もあり、こんないい所はないと思います」と、柏崎がお気に入りようです。

今の仕事を始めたきっかけを伺うと、「ここに骨を埋めるつもりでいますので、直接的に地域に貢献できるということで行政書士を目指しました」と、今までの仕事を全て辞め、柏崎で一から勉強し、商売を始めた実行力には脱帽です。

趣味を伺うと、「ビールを飲みながらの野球観戦です。もちろん関西出身なので阪神ファンです。でも開業間もないので休みの日は勉強しています。あと、半年前に青年会議所に入会しました。ここでの活動が、普段の生活や仕事に大きな比重を占めるようになって来ました」と、休みはあまり取られてないようで、今の働き方改革とは逆に行く生活ぶりです。

将来の夢や展望を伺うと「よりレベルの高い行政書士を目指したいです。また、柏崎には海や山など、いいところが沢山ありますが、まだ何

かあると思っています。そういうところを探しながら柏崎を輝かせる仕事ができたら嬉しいです」
時折、関西弁も混じりながらの大変興味深いお話を聞きました。Iターンの成功事例として、また、柏崎をこれから支える人として大いに期待したいです。

(十人衆(竹)・高取材)

